第10回公安委員会定例会開催状況

1 開催日時

令和7年4月10日（木）13時30分～16時45分

2 決裁事項

(1) 免許の取消し等

警察本部から、免許の取消し事案及び欠格期間等の処分について報告を受け、決裁した。

(2) 苦情の受理

警察本部から、苦情の受理について報告を受け、決裁した。

(3) 苦情の調査結果

警察本部から、苦情の調査結果について報告を受け、決裁した。

(4) 公安委員会規則の一部改正

警察本部から、公安委員会規則の一部改正について報告を受け、決裁した。

3 報告事項

(1) 令和8年度国に対する提案事項（案）

警察本部から、

- 県として取り組む重要な課題のうち、国による対応が必要な事項について関係省庁に提案するもので、令和8年度は、災害対策用装備資機材の整備充実として、災害対策用車両等及び信号機電源付加装置等の整備充実を、警察基盤の整備充実として、地方警察官の増員、スマートフォン解析用資機材、装備資機材、交通安全施設等の整備充実を提案事項として要望する。

旨の報告を受けた。

委員が、

「災害発生時に信号機が機能していれば、交通整理等に従事する警察官をほかの対応に回すことができるため、信号機電源付加装置等の整備充実を進めていただきたい。」

旨を発言した。

(2) 令和6年中のストーカー・配偶者暴力事案等対応状況（暫定値）

警察本部から、

- 令和6年中のストーカー事案の認知件数は222件と、前年比4件（1.8%）減少、検挙件数は38件と、前年比37件（49.3%）減少した。配偶者暴力事案の対応件数は1,39

2件と、前年比81件（5.5%）減少、検挙件数は135件と、前年比45件（25.0%）減少した。ストーカーや配偶者暴力事案として警察が認知しながら被害者が死亡した重大事案はなかった。

- 児童虐待事案の児童相談所に通告した件数は1,142件と、前年比110件（8.8%）減少、虐待の種別では、心理的虐待、身体的虐待の順に占める割合が高くなっている。
- 行方不明者届の受理件数は1,325件と、前年比43件（3.1%）減少し、そのうち957件が特異行方不明者であった。発見等により手配解除したものは1,276件であり、認知症に係る行方不明者届受理件数は279件（21.1%）であった。
- 不審者情報の認知件数は995件と、前年比152件（18.0%）増加、そのうち377件について行為者を特定し、検挙や指導・警告等を実施した。県警察では、引き続き、県民への注意喚起を行うとともに、行為者特定のための取組を推進していく。

旨の報告を受けた。

委員が、

「行方不明者を発見するためには、民間も含めた各機関との連携が重要であると思う。その中で、県警察には、法律が絡む部分への対応や、他機関への指導など、警察でしか果たせない役割を担っていただきたい。

ストーカー・配偶者暴力事案は、法律が整備されたことで、検挙率が上がり、被害者のSOSにも応えやすくなったと思う。小さな事案が重大事件に発展するおそれもあるため、引き続き対応していただきたい。」

旨を発言した。

(3) 重要事件認知・検挙状況（3月）

警察本部から、

- 令和7年3月中の重要事件認知件数は20件と、前年同期比11件増加、検挙件数は不同意わいせつ事件、非現住建造物等放火未遂事件及び強盗未遂事件等25件と、前年同期比18件増加した。
- 令和7年3月末の重要事件認知件数は51件と、前年同期比27件増加、検挙件数は54件と、前年同期比31件増加した。
- 検挙率は105.9%で推移している。

旨の報告を受けた。

委員が、

「外国人の中には、習慣等の違いにより、犯罪行為であると分からないまま日本で迷惑行為を繰り返す者がいると思う。そういった外国人への対策は、重要な課題であると思う。

高い検挙率を維持していただき、心強く思う。県民の安全・安心につながるため、今後も引き続き、高い検挙率を維持できるよう努めていただきたい。」

旨を発言した。

(4) 交通事故発生状況（3月）

警察本部から、

- 令和7年3月末の総事故件数は12,103件と、前年同期比105件増加、そのうち人身事故は1,139件と、前年同期比53件減少した。

- 3月中の交通事故による死者は5人で前年同期比4人増加し、3月中に発生した死亡事故は5件中4件が夜間の発生であり、死者5人中2人が高齢者であった。
- 3月末の死亡事故として、自転車乗車中の死者が3人であったほか、車両単独等一方的過失による事故が6件であり、高齢者の死者が5人であった。
- 交通事故抑止対策として、岡山中央署では、自転車ヘルメット着用推進リーダーズと協働した自転車指導を実施、岡山西署では、死亡事故現場付近での速度違反取締りを実施、水島署では、死亡事故抑止に向けた広報啓発を実施した。

旨の報告を受けた。

委員が、

「自転車乗車時のヘルメット着用率を向上させるためには、高校生が一番の課題であると思う。高校生の意識を調査し、ものの考え方や価値観に対して、いかにアプローチを掛けていくかが重要であると思う。

小学校の入学式の日、警察官が交差点に立ち、子供たちに横断歩道の渡り方を教えている姿を見たことがある。痛ましい死亡事故が発生しないよう、年間を通じて子供の安全を守っていただきたい。」

旨を発言した。

(5) 交通事故多発交差点の分析方法の見直し

警察本部から、

- 単年の人身事故発生件数で抽出していた従来の分析方法を見直し、過去5年間の同一類型の人身事故多発地点を分析抽出することで、より効果的な対策を目指すものである。
- 今後の取組として、交通危険箇所分析方法や精度の更なる高度化を模索しながら、今回の分析方法の見直しにより抽出した交通事故多発地点について、関係機関等と連携した対策を推進していくとともに、分析結果をホームページ等で公表し、交通指導や啓発にも生かして効果的な対策を講じていく。

旨の報告を受けた。

委員が、

「違った視点を築くことは素晴らしいと思う。今後も様々なところで違った視点を持ち、取組等に活用していただきたい。

同一類型の人身事故という重点を定めた手法は効率的であり、新たな交通事故危険箇所の把握という結果につながっているため、良い取組であると思う。」

旨を発言した。

(6) 非違行為

警察本部から、非違行為について報告を受けた。

(7) 国家賠償請求事件の判決結果

警察本部から、国家賠償請求事件の判決結果について報告を受けた。

(8) 国家賠償請求事件の応訴方針

警察本部から、国家賠償請求事件の応訴方針について報告を受けた。

(9) 令和6年度会計監査等の実施結果

警察本部から、令和6年度会計監査等の実施結果について報告を受けた。

(10) 岡山西警察署留置施設内における被留置者死亡事案の発生

警察本部から、岡山西警察署留置施設内における被留置者死亡事案の発生について報告を受けた。

(11) 令和7年度岡山県国際化対策連絡協議会連合会通常総会の開催

警察本部から、令和7年度岡山県国際化対策連絡協議会連合会通常総会の開催について報告を受けた。

4 次回公安委員会

令和7年4月24日（木）13時30分から開催予定